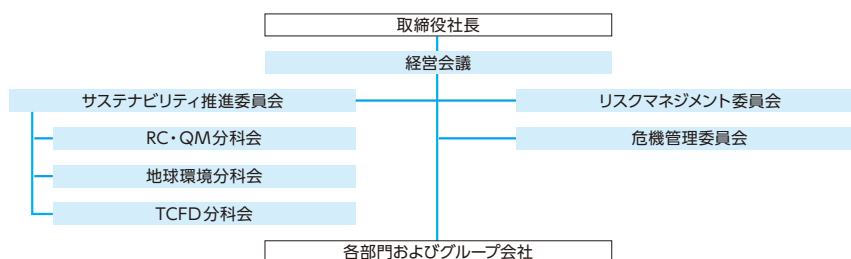


保土谷化学グループのサステナビリティ

基本的な考え方

近年、気候変動問題を中心に世界レベルでの社会課題が深刻化し、サステナビリティ経営が求められる中、新・中期経営計画「SPEED 25/30」におけるVISION（目指す姿）に掲げる持続可能な地球・社会の実現に向けた責任を果たすため、「経済利益の追求と社会課題の解決を両立させ、全てのステークホルダーに価値を提供する」ことを基本とし、積極的に推進してまいります。

サステナビリティに取り組む組織として、「サステナビリティ」を「CSR」、「ESG」、「SDGs」を包括した上位概念と捉え、2021年10月、「CSR委員会」を発展的に解消し、「サステナビリティ推進委員会」を発足させました。「サステナビリティ推進委員会」の分科会として、従来からの「RC・QM分科会」に加え、サステナビリティをめぐる具体的な課題対応のため「地球環境分科会」「TCFD分科会」を新たに設置しました。



レスポンシブル・ケア(RC)

基本的な考え方

レスポンシブル・ケア(RC)とは、「化学物質の製造や取り扱いに携わる企業が、その開発から廃棄に至る全サイクルにおいて、環境・安全・健康の対策を実行し改善を図っていく自主管理活動」です。保土谷化学グループは「環境保全と安全・健康と品質の確保は、経営の基盤であり、事業活動の基本である」を第一義にして事業活動を遂行しております。「レスポンシブル・ケア規程」を定め、事業活動全般を評価し、化学物質の総合安全管理に関わる経営上の目標および施策を「レスポンシブル・ケア(RC)基本理念」、「レスポンシブル・ケア(RC)基本方針」として社会に公表し、その重要性を、全従業員に対し教育・周知することにしております。

【レスポンシブル・ケア実施宣言】

保土谷化学は、環境の保護と人の安全・健康を確保するために「レスポンシブル・ケア(RC)基本理念」を定め、日常の事業活動を通して、レスポンシブル・ケア活動を実施することを宣言いたします。

1997.6.23



レスポンシブル・ケア

RC実施体制

RC活動の実施にあたってサステナビリティ推進委員会の下にRC・QM分科会を設置しております。保土谷化学グループのRC基本理念に品質の確保(Quality Management)も含んでいるため、分科会の名称をRC・QM分科会としております。RC活動の実施担当役員は、環境安全部を総轄する執行役員です。年4回定期的に開催される分科会では各課題の年度活動進捗の報告が行われます。年度末の分科会では、会社全体の活動総括および次年度のRC目標として「**全社RC/QM/ISO実施計画**」が審議・決定されます。次年度のRC目標は経営会議に諮られ、社長決裁を受け、承認されます。各事業所は、「**全社RC/QM/ISO実施計画**」に基づき、「**事業所RC/QM/ISO実施計画**」を策定し、さらに職場計画までブレイクダウンし、各職場の安全衛生推進員が主体となり、活動を進めております。



詳細はウェブサイトをご覧ください。 https://www.hodogaya.co.jp/csr/eco/safety_responsible/

